

「ファンダメンタルズ レターズ2号」投稿規定

Submission Guidelines

2号以降、一般公開を予定しています。その時点で一般公開するかどうか判断します。別途ご相談ください。

1. 目的

「物事の本質を探究する」という根源的な態度において、科学と美術は深く結びつきます。「ファンダメンタルズ・レターズ」は、科学・芸術・人文分野の交点における思考プロセスと対話に焦点を当て、テキストという形式を通じた新しい知の可能性を探究する試みです。

特に、以下の点を重視します：

- 科学・美術・人文間の協働から生まれる新たな着想や方法論の共有
- 完結した成果だけでなく、思考のプロセスを価値あるものとして共有
- 分野の境界を超えた新たな対話の創出

科学研究者の方々へ

交流過程での仮説形成や、分野を超えた知見の応用など、従来の査読論文では扱いにくい「思考のプロセス」を共有する場として機能します。交流プロセスから生まれる創造的な着想や、異分野との接続可能性を探る議論を歓迎します。

美術の方々へ

制作ノートやスケッチブックに記される思考の軌跡を、テキストという形式で共有・展開する実験的なプラットフォームです。作品制作における概念的な試行や、他分野との対話から生まれる新しい表現の可能性を模索する場として活用いただけます。

人文研究者の方々へ

概念の精緻な検討に加え、その形成過程や応用可能性を、より柔軟な形式で議論することができます。異なる専門性を持つ読者との対話を通じて、概念の新しい展開可能性を探ることを目指します。

このジャーナルは、完全オープンアクセスのオンラインプラットフォームとして、分野間の境界を越えた知的探究と創造的な対話を促進します。

2. 投稿資格

- ファンダメンタルズ・プログラム参加者（現在・過去）
- 編集委員会が招待した人物
- 科学、芸術、人文分野で活動する研究者・実践者

3. 投稿区分と審査プロセス

本ジャーナルへの投稿は以下の2つの区分で受け付けます：

3.1 招待投稿

- 編集委員会からの依頼による投稿
- ファンダメンタルズ・プログラム参加者による投稿
- 基本的に体裁が整っていれば掲載

3.2 一般投稿

- 広く一般からの投稿を受け付けます
- 編集委員会による初期審査があります
- 審査基準：
 - ジャーナルの基本理念との整合性
 - 分野横断的な対話への貢献
 - テキストとしての明確さと読みやすさ

※初めて投稿される方は、完全原稿の前に、400字程度の企画概要を提出いただくことをお勧めします。編集委員会から方向性についてフィードバックをお返しします。

4. 原稿種別と字数制限

本ジャーナルでは以下のセクションを設けていますが、セクションを選択しなくても構いません。
(字数はひとつの目安であり、これに限りません)

1. 交流報告 (2,000～8,000字)

科学者×アーティストのペアによる対話記録や進行中の思考プロセスの記述

2. 理論研究 (4,000～16,000字)

哲学者・人文科学者による考察、科学と芸術の接点に関する理論的分析

3. レビュー (2,000～4,000字)

展覧会評、書評、アーカイブ評、メディア評

4. 思索 (2,000～8,000字)

個人またはペアによる考察、分野横断的な対話、1-3,5に該当しない形式での試み。規定量のテキストを含めば他メディアの併用が可能。

5. レスポンス (2,000～6,000字)

過去の掲載内容へのレスポンス、異分野からのコメント。

6. アーカイブ

イベント記録、インタビュー記録等

注意：セクション指定のないものは、編集委員会が適宜指定します。

5. 使用言語

6. 投稿方法

1. 所定のオンラインフォームから投稿を受け付けます

2. 投稿の際は以下の情報を明記してください

- ・著者名（共著の場合は全著者）
- ・所属
- ・連絡先メールアドレス
- ・投稿セクション
- ・原稿タイトル
- ・キーワード（5つまで）
- ・要約（日本語および英語、各300字以内）

7. 原稿の書式

- ファイル形式：Word (.docx) またはテキスト形式 (.txt)
- フォント：MS明朝 10.5pt（日本語）、Times New Roman 12pt（英語）
- 行間：1.5行
- 図表は本文中に挿入し、キャプションを付けてください
- 参考文献は以下の形式で記載してください
 - ・書籍：著者名（出版年）『書名』出版社.
 - ・論文：著者名（出版年）「論文タイトル」『掲載誌名』巻(号), pp.xx-xx.

8. 査読プロセス

- 投稿された原稿は編集委員会によるレビューを受けます
- 各セクションによって審査レベルが異なります：
 - ・セクション1（交流報告）、3（レビュー）、4（思索）、6（アーカイブ）、については、体裁が整っていれば掲載を原則としますが、ジャーナルの基本理念との整合性も考慮されます
 - ・必要に応じて軽微な修正を依頼する場合があります
 - ・セクション2（理論研究）については、全文を審査します。独創性、論理性、有用性に富み、現段階での研究水準を内外に示しうるレベルのものを求めます。なお、審査基準に達しないと委員会が判断したものは、他の部門へ再提出することも可能です
 - ・セクション5（レスポンス）については、以下の特別規定を適用します
- 掲載の可否は編集委員会が決定します
- 掲載されなかった場合でも、建設的なフィードバックを提供します

8.1 レスポンスセクションの特別規定

レスポンスセクション（過去の掲載内容への応答）については、対話の即時性と活発さを促進するため、内容に関する審査を除外します。ただし、以下の条件を満たす必要があります：

- 明確に応答対象となる掲載内容の明示
- 出版倫理の遵守（著作権侵害、人権侵害、誹謗中傷等がないこと）
- 編集委員で判断。ストップがかかります

これにより、多様な視点からの自由で活発な対話が生まれることを期待しています。なお、レスポンスに対する更なるレスポンス（メタ・レスポンス）も同様の条件で受け付けます。

9. 著作権

- 掲載された原稿の著作権は著者に帰属します
- 本ジャーナルはCreative Commons Attribution 4.0 International License (CC BY 4.0) のもとで公開されます

10. 出版倫理

- 投稿内容は未発表のオリジナルな内容であること
- 他者の著作権を尊重し、適切に引用・参照すること
- 盗用、データの改ざん、二重投稿などの不正行為は認められません

11. 連絡先

- 投稿に関するお問い合わせ： contact@fundamentalz.jp

12. その他

- 当面の間、掲載料は無料です
- 投稿規定は予告なく変更される場合があります

本規定は2025年11月1日より施行します。